Genie
A TEREX BRAND

操作説明書

シリアル番号の範囲

GS™-1330m

GS30MD-101 から
GS30MD-3168 まで

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
First Edition
Second Printing
Part No. 1290846JAGT

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義..... 6
一般的な安全 8
作業員の安全 13
作業場の安全 14
説明..... 22
操作パネル 23
点検..... 26
操作手順 42
輸送および持ち上げの手順..... 52
メンテナンス 57
仕様..... 59

Copyright © 2019 Terex Corporation

初版: 第 2 刷、2020 年 5 月

「Genie」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。
「GS」は Terex South Dakota, Inc. の商標です。

この機械は以下の規格と準拠しています。
ANSI/SAIA A92.20
CAN/CSA B.354.6

はじめに

この説明書について

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。本著は、Genie 機械のユーザーもしくはオペレータのための操作および毎日の保守点検説明書となっています。

本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、Genie にお問い合わせください。

製品の識別

この機械のシリアル番号はシリアルラベルに記載されています。



用途および習熟ガイド

本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。機械を操作する前に、この訓練ガイドを読み、理解することはオペレータの任務です。

- ☑ 各作業員は MEWP を操作するためのトレーニングを受けなければなりません。
- ☑ MEWP の訓練は認定され、技能を持ち、トレーニングされた担当者に実施されなければなりません。
- ☑ トレーニングを受け、認定された担当者のみが機械を操作することを許可されなければなりません。
- ☑ 操作説明書の製品取扱説明書と安全規則をよく読み、理解し、従うことはオペレータの任務です。
- ☑ 操作説明書は作業台のマニュアル保管場所にあります。
- ☑ 具体的な製品の適用性に関しては、次のページ記載の**「製造者への連絡」**を参照してください。

はじめに

作業台操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


リフト機能作動ボタン


走行機能作動ボタン


作業台上昇/下降（リフト機能選択時）

走行前進/逆進（走行機能選択時）


操舵右/左（走行機能選択時）



地上操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


リフト機能作動ボタン


作業台上昇/下降ボタン

連続機能と動作は以下のとおりです。

- 走行および操舵。

インターロック機能は以下のとおりです。

- 上昇時走行速度。
- 非水平状態での上昇時の走行。
- 全ての作業台および地上操作。

使用の制限は以下の場合です。

- 本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。
- 機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

はじめに

通知の配布と準拠

製品ユーザーの安全は Genie の最優先事項です。数多くのさまざまな通知は Genie が販売業者および機械の所有者に重要な安全規約と製品情報を知らせるために使用されます。

通知に含まれる情報は、機械モデルとシリアル番号を使用して特定の機械に関連付けられています。

通知の配布は、お客様を担当している販売業者によって記録されている最新の所有者情報に基づいて行われます。そのため、ご利用の機械を登録し、連絡先情報を更新することは重要です。

従業員の安全、使用している機械の継続した安全な操作を保証するために、それぞれの通知に記載されている事項に必ず準拠してください。

ご利用の機械に関する公開されている通知は www.genielift.com にアクセスしてご確認ください。

機械所有権の譲渡

所要時間数分で所有者情報を更新していただくと、ご利用の機械に適用する重要な安全、保守および操作に関する情報を取得できます。

www.genielift.com にアクセスしてただくか、またはフリーダイヤル 1-800-536-1800 までご連絡いただき、ご利用の機械をご登録ください。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ー 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

はじめに

安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

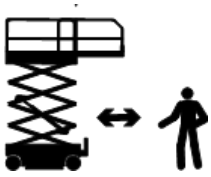
⚠ 危険 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

⚠ 警告 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

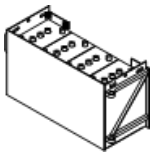
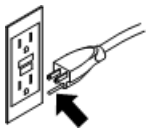
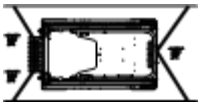
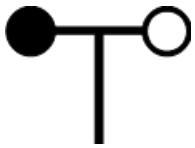
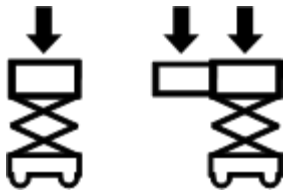
⚠ 要注意 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 物品の損傷に関するメッセージです。

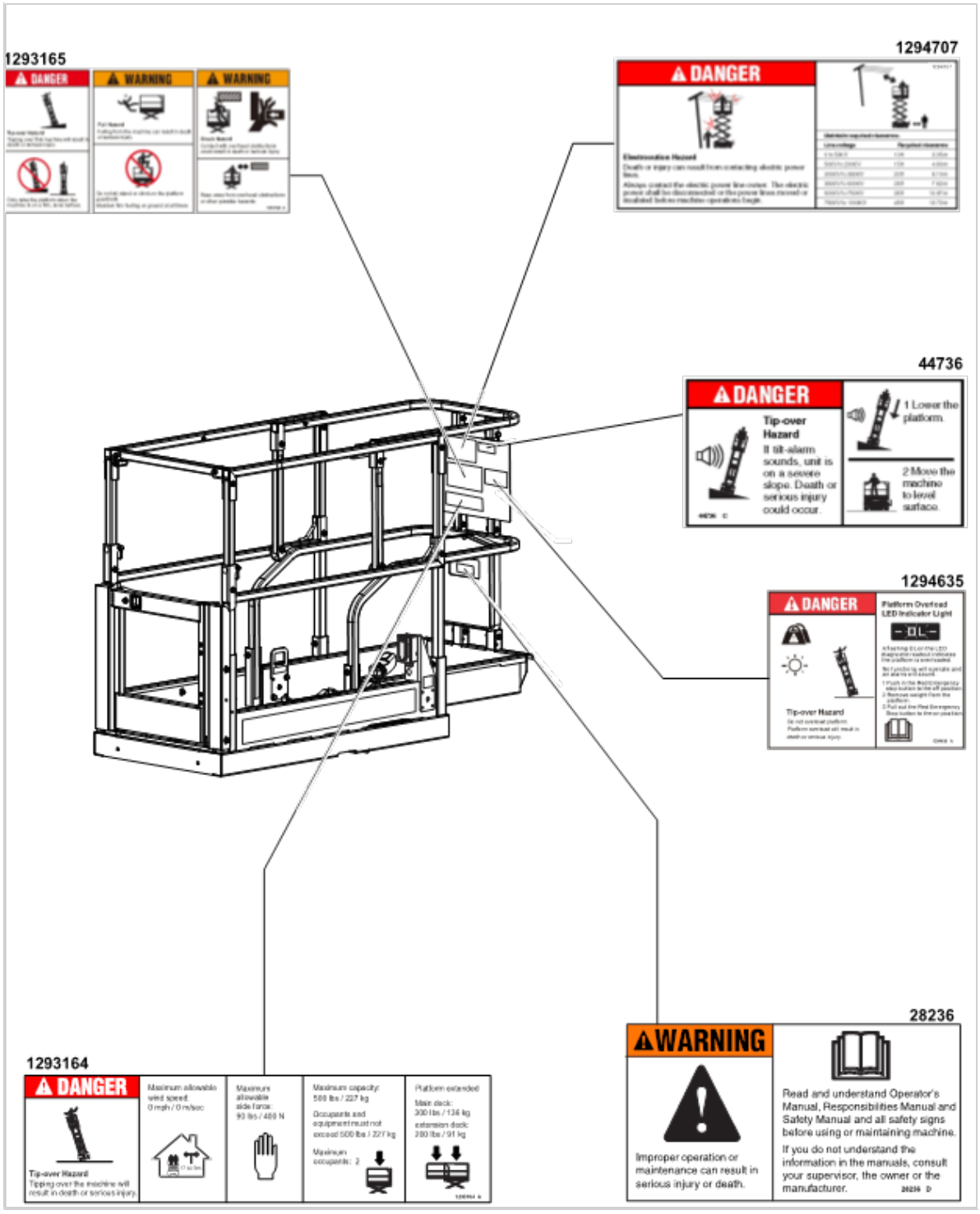
シンボルと危険を表すイラストの定義

 操作説明書を読んでください	 サービスマニュアルを読んでください	 挟まる危険	 挟まる危険	 衝突の危険
 転倒の危険	 転倒の危険	 転倒の危険	 転倒の危険	 感電の危険
 感電の危険	 爆発の危険	 火災の危険	 やけどの危険	 皮膚への噴射の危険
 安全アームをセットしてください	 可動部に近づかないでください	 アウトリガーやタイヤに近づかないでください	 平らな地面に機械を移動してください	 シャーシ台を閉じてください
 作業台を下げます	 アウトリガーで水平にできない場所に設置しないでください	 必要な間隔を維持してください	 トレーニングを受け認定された担当者のみによるアクセス	 紙類を使用して漏れを調べてください

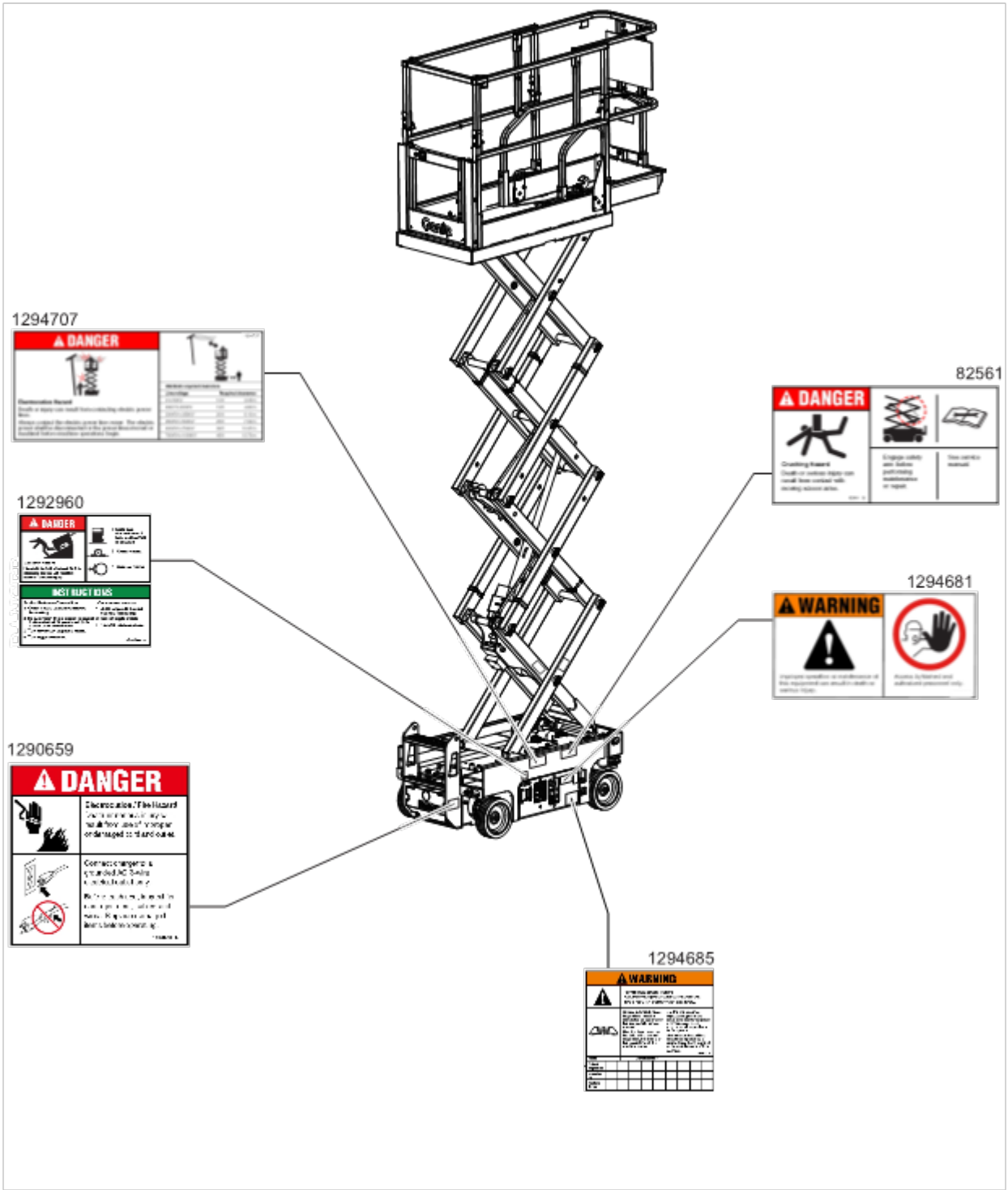
シンボルと危険を表すイラストの定義

 カウンターウェイトとして使用するバッテリー	 輪止めをかましてください	 ブレーキを解除してください	 接地されている AC 3 ピンのみ	 損傷した電線およびコードを交換してください
 車輪荷重	 吊り上げ&荷締め手順	 固定用具	 安全帯固定場所	 禁煙
 作業台への電力の定格電圧	 作業台への空気配管の定格圧力	 外圧	 ブレーキを作動する	 風速
 最大積載荷重量		 屋内		

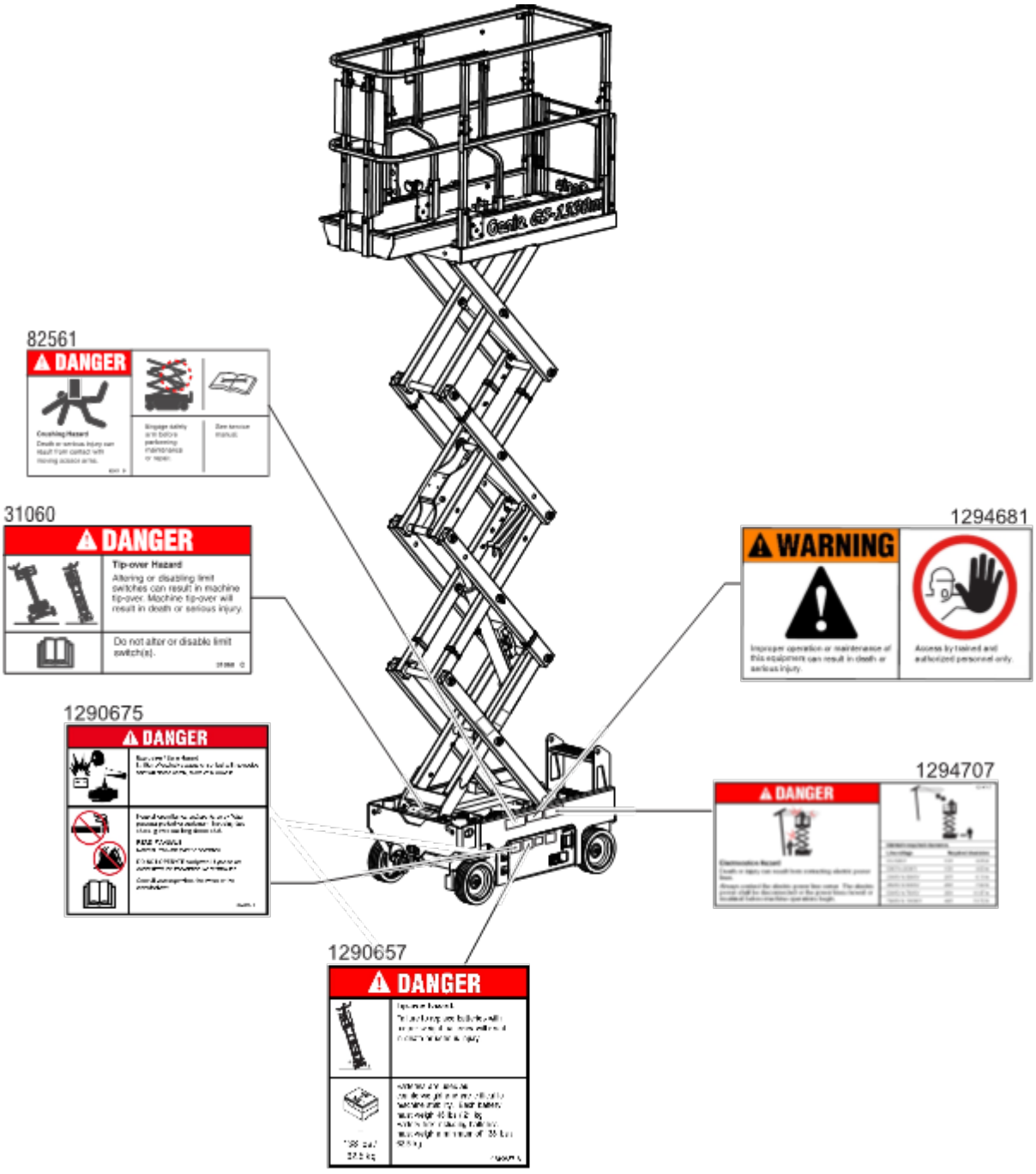
一般的な安全


1293165
DANGER
WARNING
WARNING
1294707
DANGER
44736
DANGER
Tip-over Hazard
If tilt-alarm sounds, unit is on a severe slope. Death or serious injury could occur.
1 Lower the platform.
2 Move the machine to level surface.
1294635
DANGER
Platform Overload LED Indicator Light
Tip-over Hazard
1293164
DANGER
Tip-over Hazard
Tipping over the machine will result in death or serious injury.
28236
WARNING
Improper operation or maintenance can result in serious injury or death.
Read and understand Operator's Manual, Responsibilities Manual and Safety Manual and all safety signs before using or maintaining machine.
If you do not understand the information in the manuals, consult your supervisor, the owner or the manufacturer.

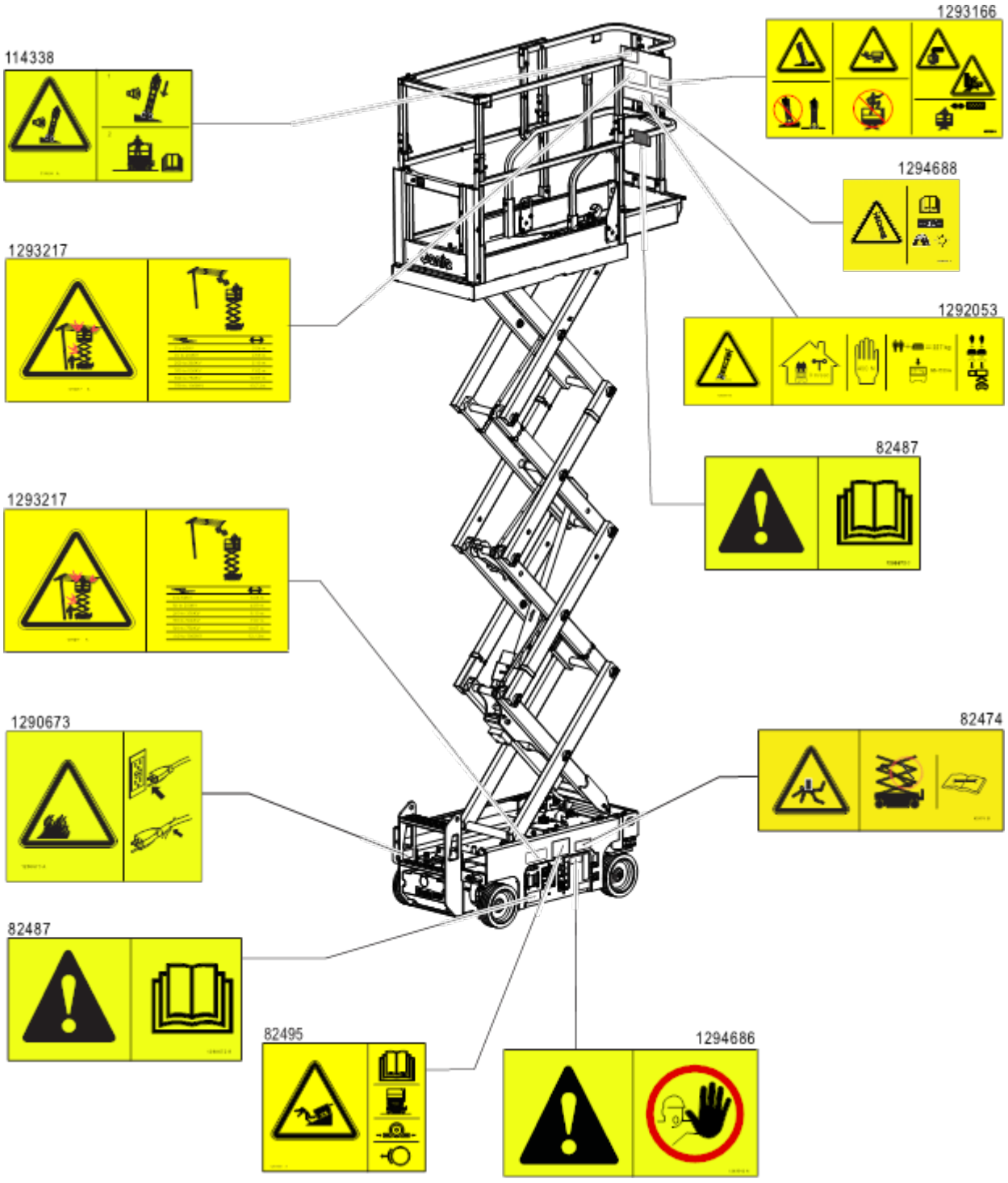
一般的な安全


1294707
DANGER
82561
DANGER
1292960
DANGER
INSTRUCTIONS
1294681
WARNING
1290659
DANGER
1294685
WARNING

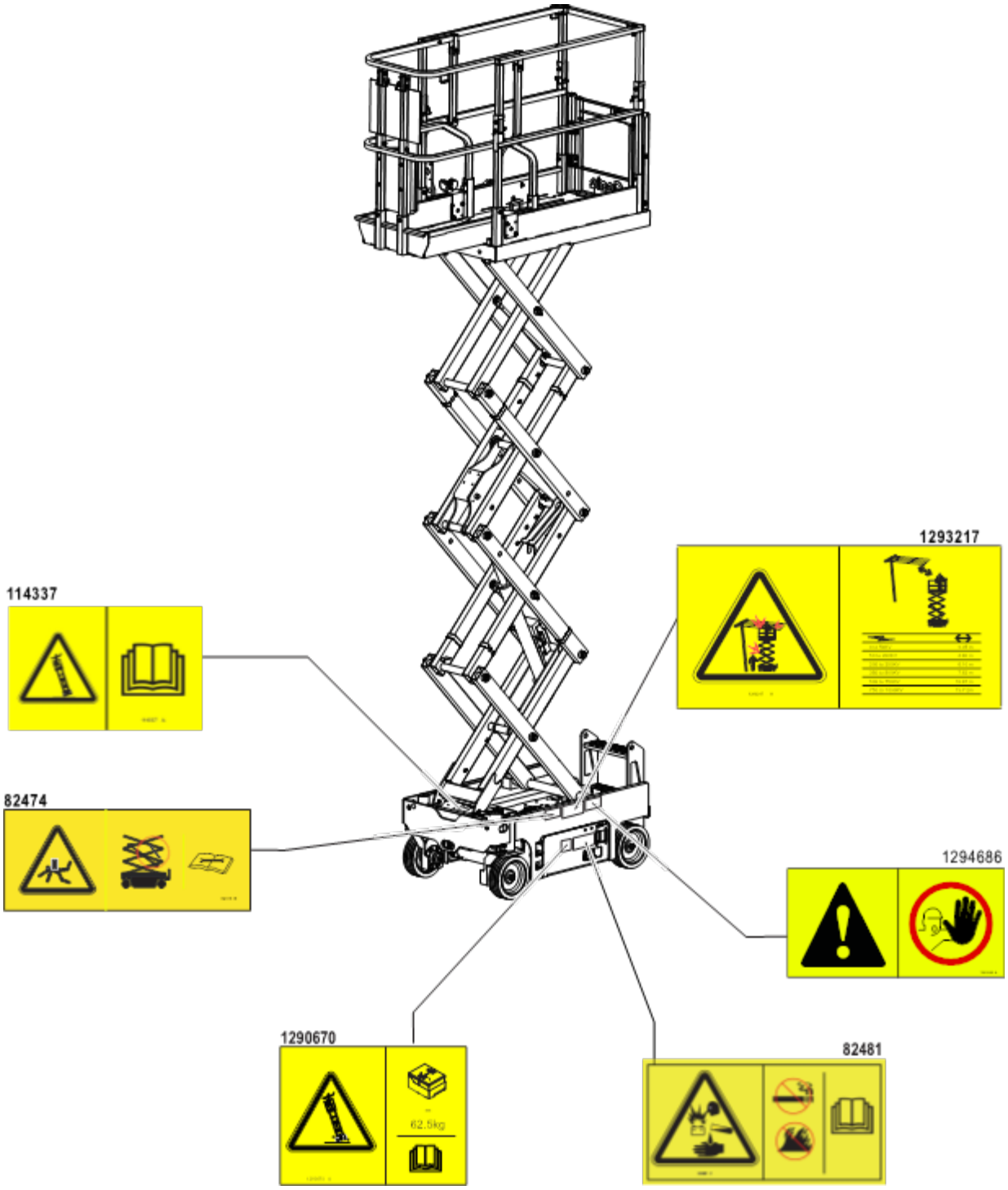
一般的な安全


82561
DANGER
31060
DANGER
Tip-over Hazard
Altering or disabling limit switches can result in machine tip-over. Machine tip-over will result in death or serious injury.
Do not alter or disable limit switch(s).
1294681
WARNING
1290675
DANGER
1294707
DANGER
1290657
DANGER

一般的な安全


114338
1293166
1294688
1293217
1292053
82487
1293217
1290673
82474
82487
82495
1294686

一般的な安全



作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、取扱説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

線間電圧		必要な距離
0 ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50 ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200 ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350 ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500 ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750 ～ 1000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。



通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

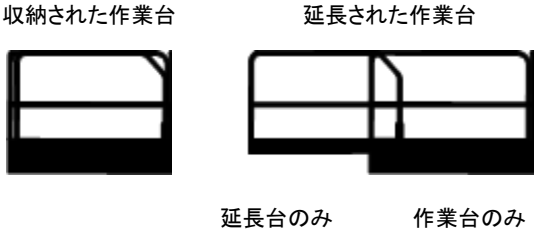
溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、作業台最大積載荷重量または作業台延長時の最大積載荷重量を超えてはなりません。

最大積載荷重量

		延長された作業台		
モデル	収納された作業台	作業台のみ	延長台のみ	最大作業員数
GS-1330m	500 lbs 227 kg	300 lbs 136 kg	200 lbs 91 kg	2



定格作業台最大積載荷重量には、パネルキャリアーなどのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台積載荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。オプションおよび付属品に付いているステッカーを参照してください。

付属品を使用する場合には、付属品に付いているステッカー、指示およびマニュアルをよく読んで理解し、従ってください。

作業場の安全



機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面上にある場合にのみシャーシ上で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合は、次の操作を行います。
作業台を下げます。機械を安定した平坦な地面に移動します。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意を払って作業台を下げてください。

作業台を上げたままの状態で 0.5 mph / 0.8 km/h 以上で走行しないでください。

屋内使用: 作業台を上昇する場合は、次のページ記載の最大許容側方圧力および最大作業員人数に従ってください。



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

水平でない不安定な地面やその他の危険な状況では、作業台を上昇させて機械を走行させないでください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

作業台を使って機械や他の物体を押さないでください。

作業台を近辺の建造物に接触させないでください。

作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

シャーシ台を開けた状態で機械を操作しないでください。

作業場の安全



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

モデル	最大側方圧力	最大作業員数
GS-1330m	90 lbs/400 N	屋内専用 - 2

リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ最低 46 lbs/21 kg でなければなりません。バッテリーを含めたバッテリートレイの重量は最低 138 lbs/62.5 kg でなければなりません。

製造元の書面による事前の許可なしに、可動式上昇作業台を変更、または改造しないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、またはガードレールに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤがすべて良好な状態にあり、みぞ付きナットが適切に締められ、止めピンが適切に設置されていることを確認してください。

作業場の安全

⚠ 手のケガの危険

手や腕をシザーズに近づけないでください。

手摺りを折りたたんでいる間は手を近づけないでください。

作業台の下または、安全アームがないシザー リンク内で作業しないでください。

地上からコントローラを使って機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

⚠ 傾斜面での操作の危険

機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。勾配の定格値は、機械が収納状態の場合に適用されます。

モデル	最大勾配の定格値、収納状態	最大定格横勾配、収納状態
GS-1330m	25%（14°）	25%（14°）

注記：定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

⚠ 落下の危険

手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規約や従業員規約により落下防止装備（PFPE）を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使用方法は PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って実施してください。備え付けられている承認された安全帯取り付け場所を使用してください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

機械が作業台収納位置にない場合は、作業台に入ったり作業台から出たりしないでください。

操作する前に、作業台に出入口チェーンを取り付けるか、出入口ゲートを閉めてください。

手摺りがしっかりと設置され、出入口がしっかりと閉められるまでは、機械を操作しないでください。

機械が高い位置の時に作業員が機械から出ようとする特定の場合の危険性については、設計の時に想定されています。詳細は Genie にお問い合わせください（「製造者への連絡」を参照）。

作業場の安全

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

機械を移動する際は延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業台操作の色別方向矢印および走行とステアリング機能用の作業台ステッカープレートをよく見ながら、操作してください。



作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

頭上で作動中の機械あるいはクレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

作業場の安全

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 爆発と火災の危険

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、機械の保管場所に保管されているようにしてください。

⚠ 部品の損傷の危険

バッテリーの充電には、24V トより高い電圧の充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

作業場の安全

⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。



バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままの状態にしてください。



バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V トより高い電圧の充電器を使用しないでください。

感電/やけどの危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ最低 46 lbs/21 kg でなければなりません。バッテリーを含めたバッテリートレイの重量は最低 137.8 lbs/62.5 kg でなければなりません。

持ち上げ時の危険

バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

作業場の安全

使用後のロックアウト

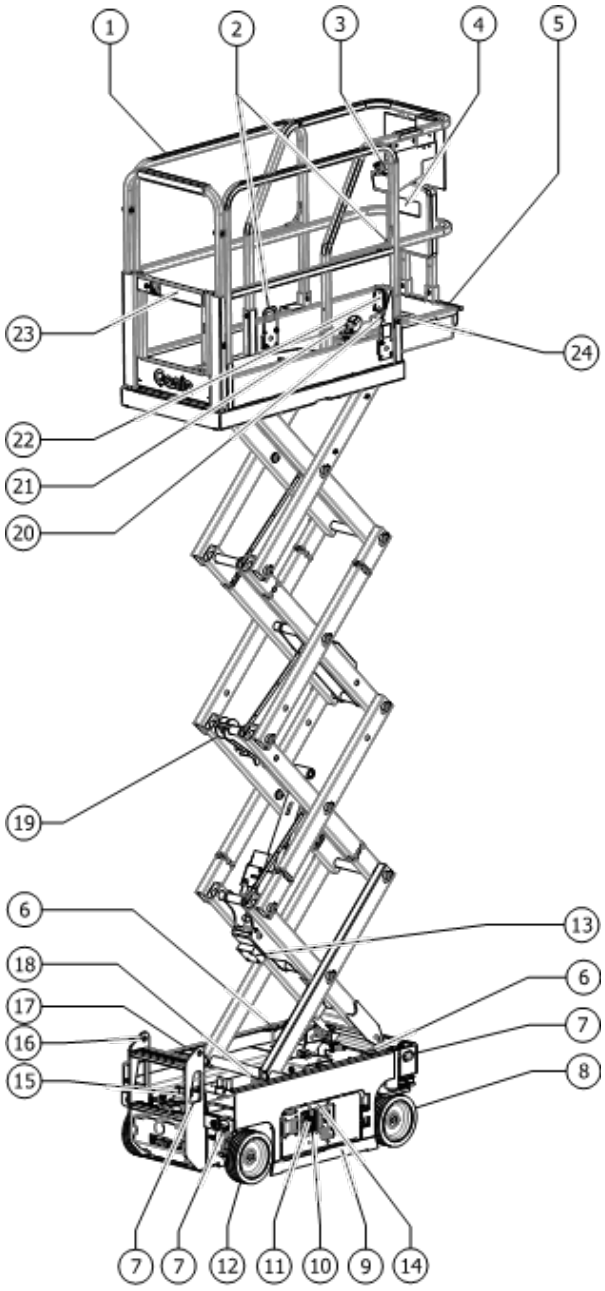
1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

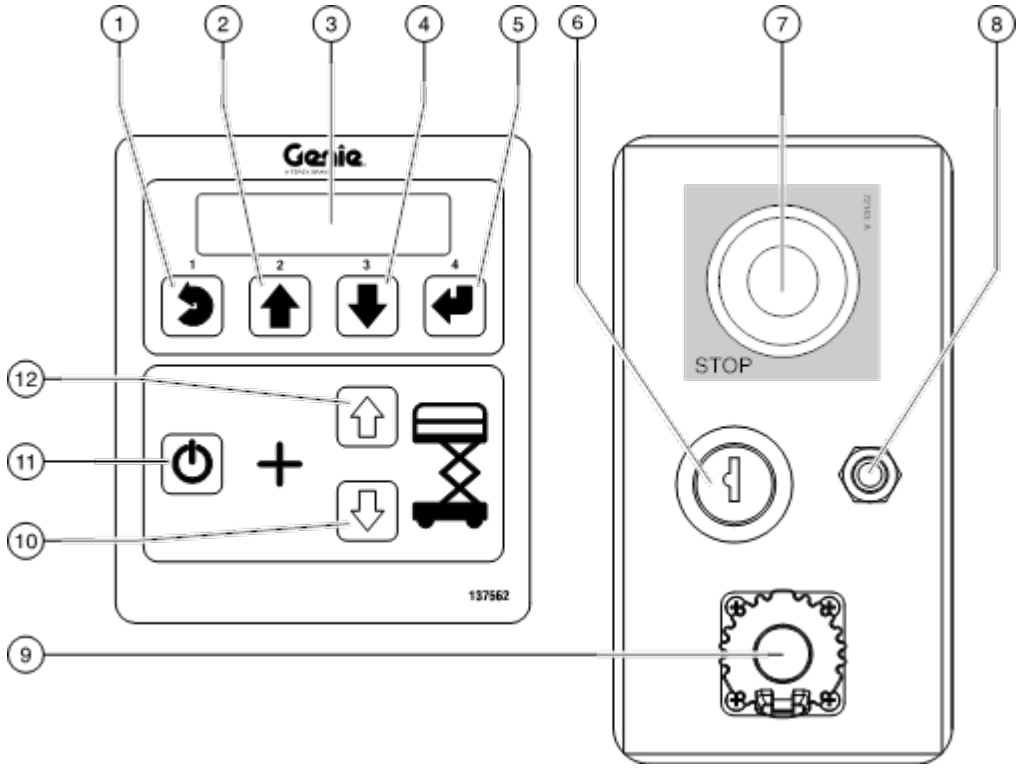
4 バッテリーを充電します。

説明



1 作業台手摺り
2 安全帯固定場所
3 作業台操作パネル
4 マニュアル保管場所
5 作業台延長部
6 点滅ランプ
7 輸送用の荷締め
8 操舵輪
9 ポットホール ガード
10 地上操作パネル
11 LCD 計測値表示
12 非操舵側タイヤ
13 インバーター（オプション）
14 ブレーキ解除スイッチ（油圧側）
15 緊急下降ノブ
16 出入口はしご/輸送の荷締め
17 バッテリー充電器（機械のバッテリー側）
18 傾斜アラーム
19 安全アーム
20 作業台への空気配管（オプション）
21 作業台延長解除ペダル
22 GFCI コンセント
23 作業台出入口ゲート
24 ペダルスイッチ（搭載されている場合）

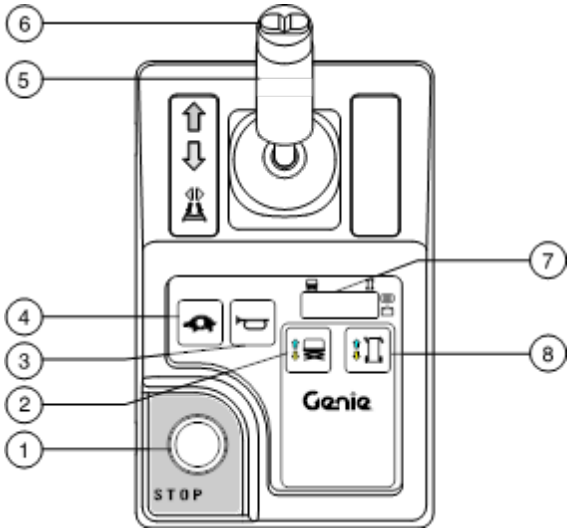
操作パネル



地上操作パネル

1 メニュー 中断ボタン
2 メニュー 上昇 ボタン
3 LCD 診断表示
4 メニュー 下降 ボタン
5 メニュー 確定 ボタン
6 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ
キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。キースイッチを OFF の位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置まで回すと、地上操作が作動します。
7 赤色非常停止ボタン
赤色非常停止ボタンを押し込んで OFF の位置にすると、全機能が停止します。機械を操作するには、赤色非常停止ボタンを引いて ON の位置にします。
8 電気回路用 7A ブレーカー
9 Tech Pro Link コネクター
10 作業台下降ボタン
11 リフト機能作動ボタン
このボタンを押したままにすると、リフト機能が作動します。
12 作業台上昇ボタン

操作パネル



作業台操作パネル

1 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押し込んで OFF（オフ）の位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いて ON（オン）の位置にして、機械を操作します。

2 リフト機能ボタン

このボタンを押すと、リフト機能が作動します。



3 ホーンボタン

ホーン ボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ホーン ボタンを離すと、ホーンが鳴り止みます。



4 走行速度選択ボタン

このボタンを押して、低速走行機能を作動させます。低速が選択されているとき、表示ランプがオンになります。



操作パネル

5 走行、ステアリングおよびリフト機能用の比例制御ハンドルおよび機能作動スイッチ

リフト機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台操作ハンドルのリフト機能が作動します。コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かすと、作業台が上がります。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、作業台が下がります。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

走行機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台操作ハンドルの走行機能が作動します。コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に動かすと、青い矢印が指す方向へ機械が動きます。コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の矢印の方向に動かすと、黄色の矢印が指す方向へ機械が動きます。

6 ステアリング機能用サムロッカースイッチ

サムロッカーの左側を押すと、機械は作業台操作パネル上の青い三角印の方向を向きます。



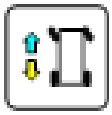
サムロッカーの右側を押すと、機械は作業台操作パネル上の黄色い三角印の方向を向きます。



7 LED 診断表示、バッテリー充電表示器およびリフト/走行モード表示器

8 走行機能ボタン

このボタンを押すと、走行機能が作動します。



点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定保守はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが行う目視点検です。この点検はオペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定保守作業が必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定保守項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目を確認してください。

損傷または工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理完了後、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

試験および検査に関するすべての地域と政府の規制に従ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるか確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ホース、フィッティング、 シリンダー、マニフォールド
- ❑ 駆動モーター
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ リミットスイッチ、アラームと警報
- ❑ アラームとビーコン（装備されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ ブレーキ解除部品
- ❑ 安全アーム
- ❑ 作業台延長部
- ❑ シザースピンと固定ファスナー
- ❑ 作業台操作ジョイスティック
- ❑ バッテリーパックと接続
- ❑ アース用ストラップ
- ❑ 作業台出入口ゲート
- ❑ ポットホール ガード
- ❑ 安全帯固定場所
- ❑ 作業台過負荷コンポーネント

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ 側面レールが設置され、ボルトが締まっていることを確認します。
- ❑ シャーシ台が正しい位置に設置され、ラッチで留められ、バッテリーが適切に接続されていることを確認します。

注記：機械を検査するために作業台を上げなければならない場合は、安全アームが所定の位置にあることを確認します。「操作手順」のセクションを参照してください。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

点検

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

地上操作

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

2 バッテリーが接続されていることを確認します。

3 作業台と地上にある両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

4 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

5 作業台操作パネルにある診断 LED の表示を確認します。

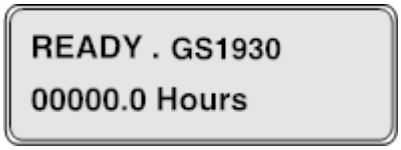
⊙ 結果:LED は下の図のように表示されているはずです。



6 地上操作パネルにある診断 LCD の表示を確認します。

⊙ 結果:LCD には、モデルと時間計が表示されます。

⊙



非常停止のテスト

7 地上操作の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

8 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

上昇/下降機能のテスト

この機械には点滅ランプと音声アラームの両方が使用されています。下降アラーム:ランプの点滅とアラーム音は毎分 60 回の点滅/ビープ音を発します。下降遅延アラーム:ランプの点滅とアラーム音は毎分 180 回の点滅/ビープ音を発します。ポットホールガードが未配置の場合:ランプの点滅とアラーム音は毎分 180 回の点滅/ビープ音を発します。機械が水平でない場合:ランプの点滅とアラーム音は毎分 180 回の点滅/ビープ音を発します。ホーン:連続的な点滅と継続音。オプションで自動車のクラクションと同様のホーンを搭載することもできます。

9 リフト機能作動ボタンを押さないでください。

10 作業台上昇または作業台下降ボタンを押します。

⊙ 結果:リフト機能は作動しません。

11 作業台上昇または作業台下降ボタンを押さないでください。

12 リフト機能作動ボタンを押します。

⊙ 結果:リフト機能は作動しません。

13 リフト作動ボタンを押したままで、作業台上昇ボタンを押します。

⊙ 結果:屋外操作範囲が選択され、作業台は上昇します。

14 リフト作動ボタンを押したままで、作業台下降ボタンを押します。

⊙ 結果:作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

作業台を下げる場合、地面から約 1.5 m の位置で作業台が停止します。下降遅延ランプが点滅し、アラームが鳴ります。作業台の下に人がいないこと、物が置かれていないことを確認してから下降を継続してください。続けて作業台を下げるには、コントロールハンドルを離し、再度コントロール ハンドルを動かします。

点検

緊急下降のテスト

15 リフト作動ボタンと作業台上昇ボタンを押して、上昇機能を作動させ、作業台を 2 ft / 60 cm ほど上昇させます。

16 出入口はしごの後ろにある緊急下降ノブを引きます。

⊙ 結果:作業台が下降します。下降アラームは鳴りません。

傾斜センサーのテスト

17 地上操作確定ボタンを押します。



⊙ 結果:地上操作の LCD 画面には傾斜センサーの X 軸、Y 軸の値が表示され、アラームが鳴ります。傾斜センサーは正しく機能しています。

18 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

作業台操作

非常停止のテスト

19 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

警報のテスト

20 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

21 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果:ホーンが鳴ります。

機能作動スイッチと上昇/下降機能のテスト

22 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしないでください。

23 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

24 リフト機能ボタンを押します。

25 リフト機能がタイムアウトするまで 7 秒間待機します。

26 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:リフト機能は作動しません。

27 リフト機能ボタンを押します。

28 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを青い矢印の方向へゆっくりと動かします。

ペダルスイッチ装備の機械の場合:ペダルスイッチを押したままにし、コントロール ハンドルの機能作動スイッチを同時に押します。

⊙ 結果:作業台が上昇します。ポットホール ガードが位置につきます。

29 コントロール ハンドルを離します。

⊙ 結果:作業台の上昇が止まります。

点検

30 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果:作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

走行機能ボタンのテスト

31 走行機能ボタンを押します。 

32 走行機能がタイムアウトするまで 7 秒間待機します。コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

ステアリングのテスト

注記:ステアリングと走行機能テストを実施する際、作業台上で機械のステアリング側に向かって立ってください。

33 走行機能ボタンを押します。 

34 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

35 コントロールハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果:ステアリング ホイールが、青色三角形の示す方向に向きます。

36 コントロール ハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの黄色の三角形の示す方向に押します。

⊙ 結果:ステアリング ホイールが、黄色三角形の示す方向に向きます。

走行とブレーキのテスト

37 走行機能ボタンを押します。 

38 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

ペダルスイッチ装備の機械の場合:ペダルスイッチを押したままにし、コントロール ハンドルの機能作動スイッチを同時に押します。

39 コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、コントロール ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械は操作パネル上の青い矢印の方向に動き、その後コントロール ハンドルがセンターポジションに戻ると急停止します。

40 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、コントロール ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械は操作パネル上の黄色の矢印の方向に動き、その後コントロール ハンドルがセンターポジションに戻ると急停止します。

注記:ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

点検

走行傾斜カットアウトのテスト

注記:このテストは地上から作業台操作で行ってください。作業台には立たないでください。

41 作業台を完全に下げます。

42 シャーシ角度が側面からもう一方の側面まで 1.5°以上になる傾斜面で機械を走行します。

43 作業台を約 7 ft/2.13 m 上昇します。

⊙ 結果:作業台が止まり、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音を鳴らします。作業台操作パネルの LED に LL が表示され、地上操作 LCD に LL: Machine Tilted(LL: 機械が傾いている)が表示されます。

44 走行機能ボタンを押します。

45 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

46 コントロール ハンドルを青い矢印の方向に動かした後、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:走行機能はどちらの方向にも作動しません。

47 作業台を完全に下げます。

48 機械を走行させます。

⊙ 結果:機械が走行します。

49 機械を水平な地面に戻し、作業台を約 7 ft/2.13 m より高く上昇させます。

50 ピッチ角度が側面からもう一方の側面まで 1.5°以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 1.5°になると、機械は停止し、傾斜アラームは毎分 180 回のビープ音を鳴らします。作業台操作パネルの LED 表示には LL と表示され、地上操作パネルの LCD には「LL: Machine Tilted(LL: 機械が傾いている)」と表示されます。

51 水平な地面に戻し、作業台を完全に下降します。

52 シャーシ角度が前方から後方まで 2.5°以上になる傾斜面で機械を走行します。

53 作業台を約 7 ft/2.13 m 上昇します。

⊙ 結果:作業台が止まり、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音を鳴らします。作業台操作パネルの LED に LL が表示され、地上操作 LCD に LL: Machine Tilted(LL: 機械が傾いている)が表示されます。

54 走行機能ボタンを押します。

55 コントロール ハンドルの走行・ステアリング機能作動スイッチを押したままにします。

56 コントロール ハンドルを青い矢印の方向に動かした後、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:走行機能はどちらの方向にも作動しません。

点検

57 作業台を完全に下げます。

58 機械を走行させます。

⊙ 結果:機械が走行します。

59 機械を水平な地面に戻し、作業台を約 7 ft / 2.13 m より高く上昇させます。

60 ピッチ角度が前方から後方まで 2.5°以上になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜が 2.5°になると、機械は停止し、傾斜アラームは毎分 180 回のビープ音を鳴らします。作業台操作パネルの LED 表示には LL と表示され、地上操作パネルの LCD には「LL: Machine Tilted(LL: 機械が傾いている)」と表示されます。

⊙ 作業台を完全に下げ、水平な地面に戻します。

上昇時走行速度のテスト

61 作業台を地上約 4 ft / 1.2 m まで上げます。

62 走行機能ボタンを押します。 

63 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:作業台が上昇した状態での最大走行速度は 0.72 ft / 22 cm/s を越えてはいけません。

作業台を上げた状態での走行速度が 0.72 ft / 22 cm/s を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

ポットホール・ガードのテスト

注記:作業台が上昇するとポットホール ガードが自動的に位置につきます。ポットホール ガードがリミット スイッチを作動させ、機械は引き続き機能します。ポットホール ガードが位置につかないときは、アラームが鳴り機械は走行しません。

64 作業台を上昇させます。

⊙ 結果:作業台が地上約 4 ft / 1.2 m まで上がったら、ポットホール・ガードが位置につきます。

65 片側のポットホール ガードを押し、その後もう一方を押します。

⊙ 結果:ポットホール ガードは動きません。

66 作業台を下げます

⊙ 結果:ポットホール ガードが閉じた状態になります。

67 太さが 2x4 in / 5x10 cm 程度の材木をポットホール ガードの下に置きます。

68 作業台を上昇させます。

⊙ 結果:作業台が地上から 7 ft / 2.1 m の位置まで上昇する前に、アラーム音が鳴ります。作業台操作パネルの LED に PHS が表示されます。地上操作 LCD に PHS: Pothole Guard Stuck(PHS: ポットホールガードが引っかかって いる)が表示されます。

点検

69 走行機能ボタンを押します。 

70 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

71 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果：機械は前にも後ろにも動きません。

72 走行機能ボタンを押します。 

73 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

74 コントロールハンドルの上部にあるサムロッカースイッチを、操作パネルの青い三角印および黄色い三角印の示す方向に押します。

⊙ 結果：ハンドルは右にも左にも動きません。

75 作業台を下げます。

76 2x4 in / 5x10 cm ほどの木片を取り除きます。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

点検

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

GS-1330m 警告用語付きステッカーの点検

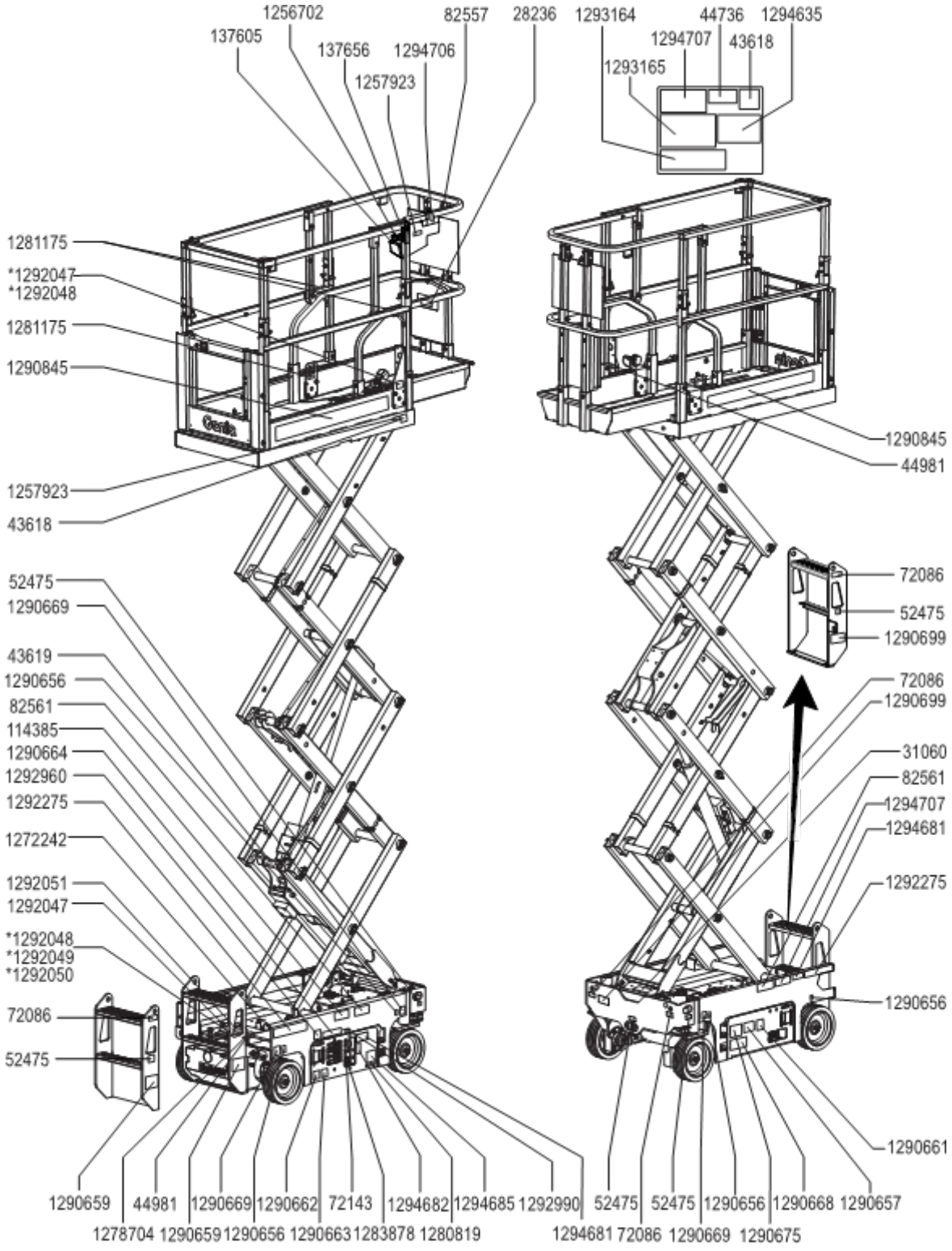
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
28236	警告 ー 不適切な操作	1
31060	危険 ー 転倒の危険、リミット スイッチ	1
43618	ラベル ー 方向矢印	2
43619	ラベル ー 安全アーム	1
44736	危険 ー 転倒の危険、傾斜アラーム	1
44981	ラベル ー 作業台への空気管	2
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	5
72086	ラベル ー 吊り上げ点	4
72143	ラベル ー 非常停止	1
82557	ラベル ー 作業台操作場所	1
82561	危険 ー 挟まる危険	2
137605	ラベル ー 緊急停止、作業台操作	1
137656	ラベル ー 走行・ステアリング方向、作業台操作	1
1256702	オーバーレイ ー 作業台操作パネル	1
1257923	ラベル ー Smartlink	2
1272242	ラベル ー 機械の登録/所有権の譲渡	1
1278704	ラベル ー バッテリー充電表示器	1
1280819	ラベル ー 警告、がんと生殖害、Prop 65	1
1281175	ラベル ー 安全帯固定箇所、落下阻止	3
1283878	ラベル ー Tech Pro Link	1
1290656	ラベル ー タイヤ仕様	4
1290657	危険 ー 転倒の危険、バッテリー	1
1290661	指示 ー バッテリー接続図	1
1290662	ラベル ー Chevron Rando	1
1290663	指示 ー 1 年毎の点検	1
1290664	指示 ー 操作、地上操作	1
1290668	指示 ー バッテリー充電器操作	1
1290669	ラベル ー ホイール荷重、GS-1330m	4
1290675	危険 ー 爆発/やけどの危険	1
1290699	ラベル ー 輸送図	2
1290845	外装 ー Genie GS-1330	2
1292047	ラベル ー 作業台への電力、115V	2
1292048	ラベル ー 作業台への電力、230V	2
1292049	ラベル ー 充電器への電力、115V、UK	2
1292050	ラベル ー 充電器への電力、230V、EU	2
1292051	ラベル ー 緊急下降	1
1292275	ラベル ー 電動走行、E-Drive	2
1292960	ラベル ー ブレーキ解除安全性と操作手順	1
1292990	ラベル ーブレーキ解除	1
1293164	危険 ー 転倒の危険、許容量、GS-1330m	1
1293165	危険 ー 転倒の危険、挟まる危険	1
1294635	ラベル ー 作業台過負荷 LED 表示器ランプ	1
1294681	警告 ー 不適切な操作、Micro	1
1294682	ラベル ー 地上操作パネル、GS-1330m	1
1294685	指示 ー 1 年毎の点検	1
1294706	ラベル ー 故障コード	1
1294707	危険 ー 感電の危険	3

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

点検


1256702
137605
137656
1294706
1257923
82557
28236
1293164
44736
1294635
1294707
43618
1293165
1281175
*1292047
*1292048
1281175
1290845
1257923
43618
52475
1290669
43619
1290656
82561
114385
1290664
1292960
1292275
1272242
1292051
1292047
*1292048
*1292049
*1292050
72086
52475
1290845
44981
72086
52475
1290699
72086
1290699
31060
82561
1294707
1294681
1292275
1290656
1290661
1290659
44981
1290669
1290662
72143
1294682
1294685
1292990
52475
52475
1290656
1290668
1290657
1278704
1290659
1290656
1290663
1283878
1280819
1294681
72086
1290669
1290675

点検

GS-1330m 警告用語付きステッカーの点検

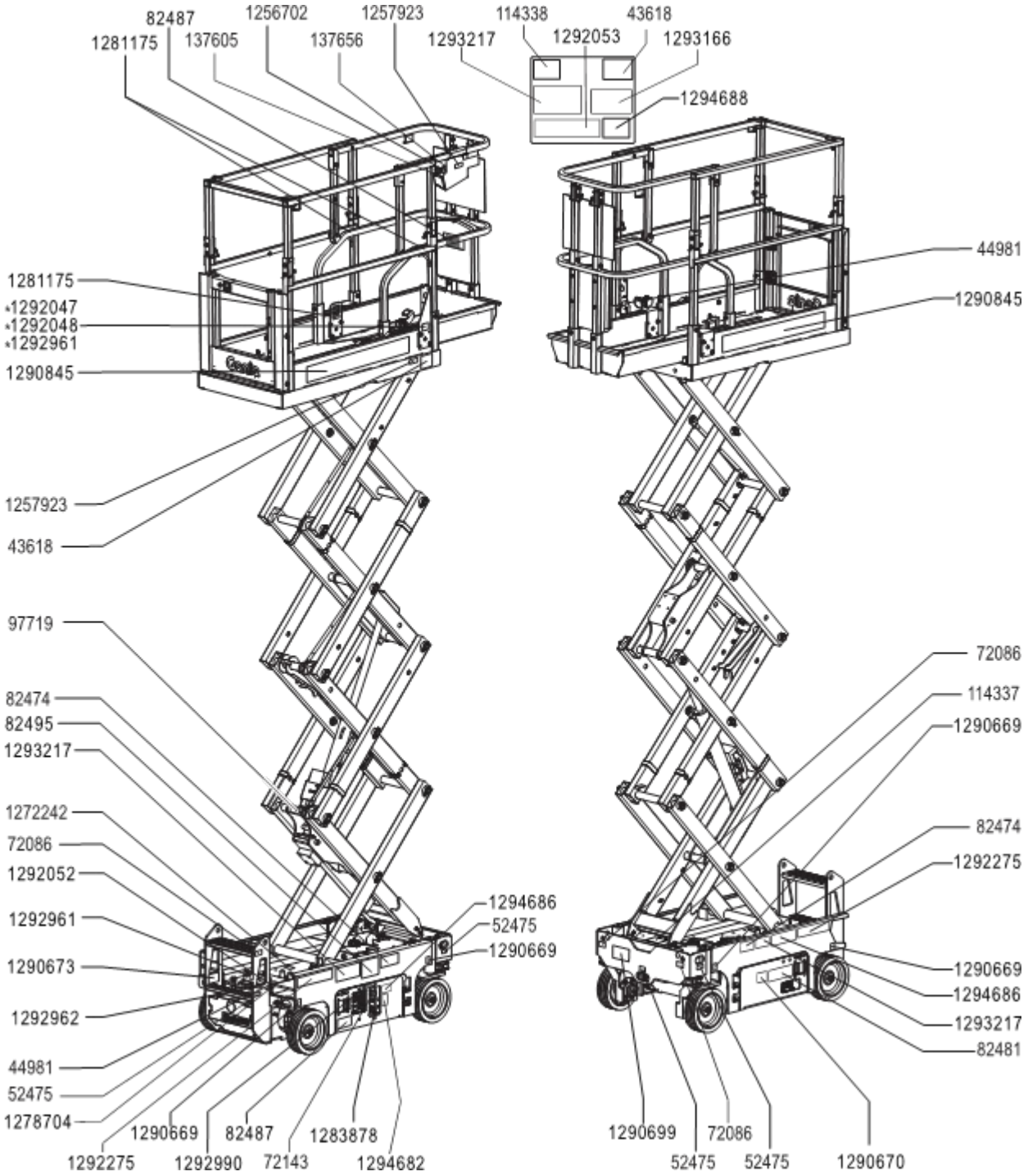
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
43618	ラベル － 方向矢印	2
44981	ラベル － 作業台への空気管	2
52475	ラベル － 輸送用の荷締め	5
72086	ラベル － 吊り上げ点	4
72143	ラベル － 非常停止	1
82474	ラベル － 安全輪止め使用	2
82481	ラベル － バッテリー/充電器の安全	1
82487	ラベル － マニュアルを読む	2
82495	ラベル － ブレーキ解除安全性と操作手順	1
97719	ラベル － 安全アーム	1
114337	ラベル － 転倒の危険、リミットスイッチ	1
114338	ラベル － 転倒の危険、傾斜アラーム	1
137605	ラベル － 緊急停止、作業台操作	1
137656	ラベル － 走行・ステアリング方向、作業台操作	1
1256702	オーバーレイ － 作業台操作パネル	1
1257923	ラベル － Smartlink	2
1272242	ラベル － 機械の登録/所有権の譲渡	1
1278704	ラベル － バッテリー充電表示器	1
1281175	ラベル － 安全帯固定箇所、落下阻止	3
1283878	ラベル － Tech Pro Link	1
1290669	ラベル － ホイール荷重、GS-1330m	4
1290670	ラベル － 転倒の危険、バッテリー	1
1290673	ラベル － 感電の危険、プラグ	1
1290699	ラベル － 輸送図	2
1290845	外装 － Genie GS-1330	2
1292047	ラベル － 作業台への電力、115V	1
1292048	ラベル － 作業台への電力、230V	1
1292052	ラベル － GS-1330m の緊急下降	1
1292053	指示 － 最大積載量、272 kg、GS-1330m	1
1292275	ラベル － 電動走行、E-Drive	2
1292961	ラベル － 作業台への電力、100V、GS-1330m	2
1292962	ラベル － 充電器への電力、115V、GS-1330m	1
1292990	ラベル － ブレーキ解除	1
1293166	危険、警告 － 転倒、挟まる危険	1
1293217	ラベル － 危険、感電の危険	3
1294682	ラベル － 地上操作パネル、GS-1330m	1
1294686	ラベル － コンパートメントへのアクセス	2
1294688	ラベル － 作業台過負荷 LED 表示器ランプ	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています（例：カバーの下など）。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

点検


82487
1256702
1257923
114338
43618
1281175
137605
137656
1293217
1292053
1293166
1294688
44981
1281175
•1292047
•1292048
•1292961
1290845
1290845
1257923
43618
97719
72086
82474
82495
114337
1293217
1290669
1272242
82474
72086
1292275
1292052
1294686
1292961
52475
1290669
1290673
1290669
1294686
1292962
1293217
82481
44981
52475
1278704
1290699
72086
1290669
82487
1283878
52475
52475
1290670
1292275
1292990
72143
1294682

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

非常停止

地上もしくは作業台操作パネルの赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にし、すべての機能を停止します。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

緊急下降

1 緊急下降ノブを引いて、作業台を下げます。

地上からの操作

1 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

作業台を位置につける

1 操作パネル上で、リフト機能作動ボタンを押したままにします。

2 作業台上昇または作業台下降ボタンを押します。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

作業台からの操作

1 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

2 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

3 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

作業台を位置につける

1 リフト機能ボタンを押します。  LCD 画面では、リフト機能シンボルの下に丸印が表示されます。

リフト機能ボタンを押しても、コントロール ハンドルが 7 秒以内に動かない場合には、リフト機能シンボルの下の丸印が消えて、リフト機能は作動しません。再度、リフト機能ボタンを押します。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 ペダルスイッチ装備の機械の場合:ペダルスイッチを押したままにし、コントロール ハンドルの機能作動スイッチを同時に押します。

4 コントロール ハンドルを操作パネルのマークに従って動かします。

操作手順

操舵

1 走行機能ボタンを押します。LCD 画面では、走行機能シンボルの下に丸印が表示されます。

走行機能ボタンを押しても、コントロール ハンドルが 7 秒以内に動かない場合には、走行機能シンボルの下の丸印が消えて、走行機能は作動しません。再度、走行機能ボタンを押します。

2 ペダルスイッチを押したままにします（搭載されている場合）。

3 ステアリング ホイールをコントロール ハンドルの先端にあるサムロッカースイッチで回します。



走行

1 走行機能ボタンを押します。LCD 画面では、走行機能シンボルの下に丸印が表示されます。

走行機能ボタンを押しても、コントロール ハンドルが 7 秒以内に動かない場合には、走行機能シンボルの下の丸印が消えて、走行機能は作動しません。再度、走行機能ボタンを押します。

2 ペダルスイッチ装備の機械の場合：ペダルスイッチを押したままにし、コントロール ハンドルの機能作動スイッチを同時に押します。

3 速度を上げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを離します。

作業台操作パネルと作業台の色別された方向矢印を使って、機械の進む方向を確認してください。

作業台が上昇した状態では走行スピードが制限されています。

バッテリー状態は機械の性能に影響します。バッテリーレベル表示ランプが点滅している時、機械の走行速度および機能速度は低下します。

走行速度の選択

走行コントロールでは、2 つの異なる走行速度モードで操作することができます。走行速度ボタンのランプが点灯している場合は、走行速度モードが低速になっています。走行速度ボタンのランプが消えている場合は、走行速度モードが高速になっています。

走行速度ボタンを押して、いずれかの走行速度を選択します。



注記：作業台が上昇しているときには、走行速度ボタンのランプは常に点灯しており、これは上昇時の走行速度を示します。

操作手順

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する縦傾斜および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。

最大定格勾配、収納状態:



GS-1330m	25%	14°

最大定格横勾配、収納状態:



GS-1330m	25%	14°

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

傾斜勾配の確認:

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 3 ft/1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例:



木片の長さが 144 in (3.6 m) なら、

水平距離 = 144 in (3.6 m)

高さ = 12 in (0.3 m)

12 in ÷ 144 in = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配
0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜面の上または下に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

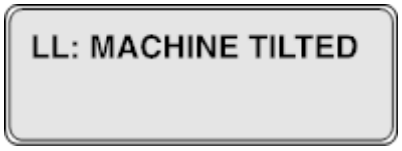
操作手順

作業表示コード

作業台操作パネルの LED または地上操作パネルの LED 診断表示に、LL 等の操作表示コードが表示されている場合、機械操作を再開する前に故障状態を修理または解除する必要があります。赤色の非常停止ボタンを押し込み、次に引き出して、システムをリセットします。



LED 計測器情報



LCD 計測器情報

操作表示コード

コード	状態
LL	水平でない
OL	作業台過負荷
CH	シャーシモード運転
PHS	ポットホールガードのひっかかり
Nd	走行なし（オプション）
BR	手動ブレーキ解除

詳しい情報については該当する Genie サービスマニュアルをご覧ください。コードとコードの説明については、地上操作 LCD 表示でも確認することができます。

作業台過負荷

作業台操作パネルの LED 診断表示には点滅した OL が表示され、地上操作パネルの LCD 診断表示には、OL が表示されます。OL は作業台過負荷状態（Platform Overloaded）を意味し、作業台が過負荷状態で、すべての機能が作動しません。アラームが鳴ります。

1 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

2 重量を作業台から取り除きます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。



LED 計測器情報



LCD 計測器情報

作業台が上昇または下降されている場合、最大の高さに近づいた時点で自動確認機能が実施されます。機械は停止し、アラームが鳴ります。機械が過負荷状態でない場合、通常運転で再開します。

過負荷の復元

地上操作パネルの LCD 診断表示に Overload Recovery（過負荷の復元）と表示された場合は、作業台が過負荷状態の間、補助下降システムが作動します。この表示メッセージをリセットする手順は、適切な Genie サービスマニュアルを参照してください。

操作手順

コントローラを使った地上からの操作

オペレータ、機械、固定された物体の間に安全な距離を保ってください。

コントローラを使う際、機械が走行する方向に注意してください。

バッテリー レベル表示器

LED 診断計測値を使用して、バッテリー レベルを確認します。

注記:作業台操作 LED 表示上に LO コードが点滅しているときは、機械の使用を中止し、充電しなければなりません。そうしないと機械のすべての機能が働かなくなります。



100% 充電



50% 充電



低充電



LO 点滅

安全アームの使用方法

1 作業台を地上約 8 ft / 2.4 m まで上げます。

2 安全アームを回して機械から離し、下に垂らした状態にします。

3 安全アームがリンクにしっかり載るまで、作業台を下げます。作業台が降下しているときは、安全アームに近づかないでください。

ガードレールの折りたたみ方

作業台のレールには、延長デッキ用の折りたたみ部分とメインデッキ用の部分があります。両方の部分は、4 本のワイヤ ロックピンで所定の位置に固定されています。

1 作業台を完全に下げて作業台の延長部分を収納します。

2 作業台操作パネルを取り外します。

⚠ 落下の危険。ガードレールを折りたたんでいる間は常に注意し、作業台の上ではしっかりとした足場を保つようにします。

3 作業台の内側から、2 本の延長デッキ ロックピンを外します。

⚠ 挟まれる可能性のある場所に手を近づけないでください。

4 延長デッキのレール アッセンブリを延長デッキのレール中央部からユニットの後方に向かって折りたたみます。

5 メインデッキの後方で、2 本のメインデッキ ロックピンを外します。

⚠ 挟まれる可能性のある場所に手を近づけないでください。

6 メインデッキのレール アッセンブリをユニットの中央部から前方に向かって折りたたみます。

操作手順

7 ピンを使用して、エントリースイングフレームを左側のメインレールに接続します。

⚠ 挟まれる可能性のある場所に手を近づけないでください。

8 ゲートを慎重に開き、作業台から出ます。

9 メインレールの片側から 2 本のピンを取り外します。

⚠ 挟まれる可能性のある場所に手を近づけないでください。

10 その側面のメインレールをユニット内部に向かって折りたたみます。

11 メインレールのもう一方の側面から 2 本のピンを取り外します。

⚠ 挟まれる可能性のある場所に手を近づけないでください。

12 もう一方の側面のメインレールをユニット内部に向かって折りたたみます。

注記:ワイヤ ロックピンの取り外しおよび交換をサポートするには、レールを押す、もしくは引いてゴム製バンパーを圧縮します。

ガードレールの上げ方

折りたたみ手順に従いますが、逆の順序で行ってください。すべてのロックピンが正しい位置にあり、適切に設置されていることを確認します。

操作手順

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 バッテリーを充電します。

操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず以下に従うこと。

☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。

☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。

☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。

☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

バッテリーの充電

1 充電前にバッテリーが接続されていることを確認します。

2 バッテリーのコンパートメントを開きます。充電中はコンパートメントを開いたままにします。

メンテナンス不要のバッテリー

1 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

2 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

標準バッテリー

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じて、プレートが隠れる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。

2 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。

3 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

4 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルに、プレートが隠れる程度にバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

操作手順

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 バッテリーを充電します。

輸送および持ち上げの手順



必ず以下に従うこと。

☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた可動式上昇作業台の作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を平坦な地面で停止する、または固定してから行ってください。

☑ スナップ ピンを外すとき、レールが落ちないようにしてください。レールが下げられているときは、しっかりとレールを押さえてください。

☑ 機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

輸送および持ち上げの手順

ブレーキ解除操作

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。



2 シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

3 地上操作の非常停止ボタンを引き出し、キースイッチを地上操作モードの位置にします。

4 油圧トレイを開きます。

5 トグルスイッチから保護カバーを外します。



6 図で示されているようにトグルスイッチを動かして、ブレーキを解除します。ブレーキが解除されると、アラームが鳴ります。

機械を載せた後は、以下を行います。

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 図で示されているようにトグルスイッチを動かして、ブレーキを作動します。



3 トグルスイッチに保護カバーを取り付けます。

4 地上操作パネルと作業台操作パネルの両方の赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

Genie GS-1330m の牽引は推奨しません。牽引しなければならない場合は、2 mph/時速 3.2 km を超えないでください。

輸送および持ち上げの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

機械を輸送する際は、必ず延長デッキ ロックを使用してください。

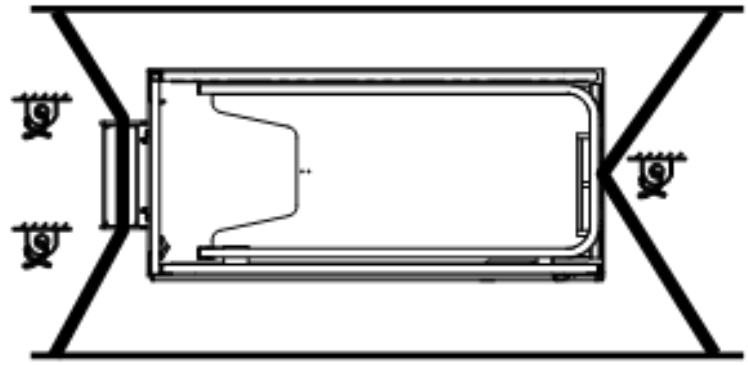
輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

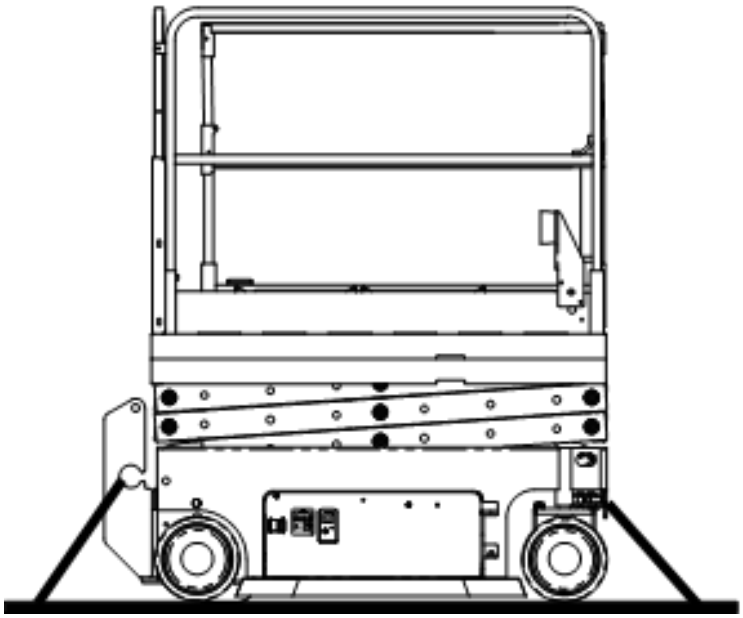
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 2 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。





輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ておよび持ち上げを行うときは、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ 機械をフォークリフトで持ち上げる際は、必ず認定を受けたフォークリフト オペレータが行ってください。

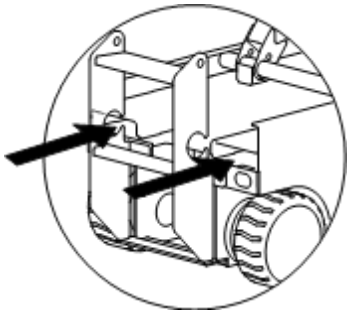
☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

フォークリフトによる機械の持ち上げ

延長デッキ、操作パネルおよび部品トレイが固定されていることを確認してください。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

作業台を完全に下げます。作業台は、積載と輸送のすべての手順を行う間、下げたままにしておく必要があります。

はしごの両面にあるフォークリフト ポケットを使用します。



フォークリフト ポケットでフォークリフトのフォークを所定の位置に配置します。

フォークが伸長する限度まで前進します。

機械を 16 in / 0.4 m 上げ、フォークを少し傾けて、機械の安定を保ちます。

フォークを下げたとき、機械が水平になっていることを確認します。

注意 側面から機械をリフトすると、部品を損傷する場合があります。

輸送および持ち上げの手順

リフトの手順

作業台を完全に下げます。延長デッキ、操作パネルおよび部品トレイが固定されていることを確認してください。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

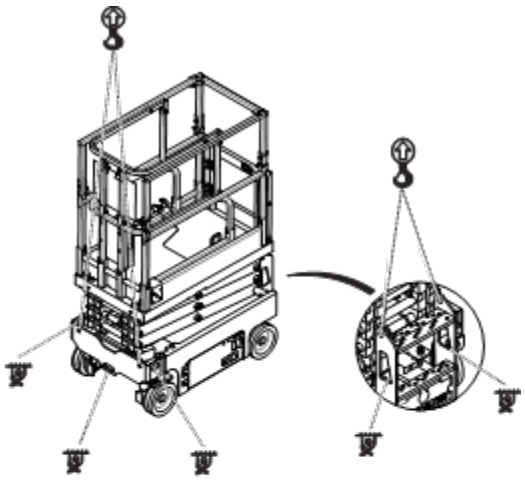
このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

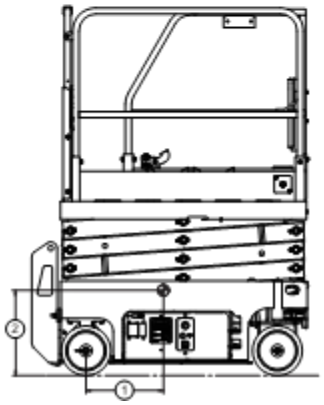
機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。リフト用に機械の前面とはしごに直径 1 インチ/2.5 cm の 穴が 2 個ずつ用意されています。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

重心の表

モデル	X 軸	Y 軸
GS-1330m	17.4 in 44.3 cm	20.6 in 52.5 cm





1 X 軸

2 Y 軸

メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

☑ 法規に従って、適切に廃棄してください。

☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 機械がしっかりとした水平な地面にあり、障害物がなく、作業台が収納された状態であることを確認します。

2 油圧タンクのオイル量を目視点検します。

⊙ 結果：作動油の量は、タンクの ADD（追加）と FULL（満タン）のマークの間を指している必要があります。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

メンテナンス

バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注記: このテストはバッテリーを完全に充電した後に行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

注記:端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本機械の保守トレーニングを受け認定されている担当者が本機械のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機械の耐用年数を終えた際には、廃棄や廃車に関する地域や政府の規制をすべて遵守してください。詳細については、該当する Genie サービスマニュアルを参照してください。

仕様

モデル		GS-1330m
高さ、操作時最大	18 ft 10 in	5.9 m
高さ、作業台最大	12 ft 10 in	3.9 m
高さ、収納時最大の手摺りを固定した状態	80 in	202 cm
高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態	80 in	202 cm
高さ、収納時最大に手摺りを折りたたんだ状態	66 in	168 cm
作業台高さ、収納時最大	35.2 in	90 cm
高さ、手摺り	43 in	110 cm
幅	30.5 in	78 cm
長さ、作業台収納時	56 in	141 cm
長さ、作業台延長時	74 in	187 cm
作業台延長部長さ	18 in	46 cm
作業台寸法（奥行き x 幅）	50 x 27 in	126 x 67 cm
最大積載荷重	500 lbs	227 kg
ホイールベース	39 in	98 cm
旋回半径 (外側)	61 in	155 cm
旋回半径 (内側)	15.7 in	40 cm
最低地上高	2.4 in	6 cm
最低地上高 ポットホール ガード配置時	0.63 in	2 cm
重量	1950 lbs	885 kg
(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)		
電源	バッテリー 2 個、 12V 85AH	
システム電圧		24V
作業台 AC コンセント		標準
最大油圧力（機能）	2250 psi	155 バール
タイヤ サイズ		10 x 3 x 8 in
ハンド/アームシステムが対象となる総振動値は 2.5 m/秒 ^{2} を超過しません。		
本体全体が対象となる補正加速度の最高二乗平均平方根値は 0.5 m/秒 ^{2} を超過しません。		

操作温度		
最低	-20°F	-29°C
最高	150°F	66°C
機械による騒音		
地上作業場での音圧レベル		<70 dBA
作業台での音圧レベル		<70 dBA
最大勾配の定格値、収納状態		25%（14°）
最大定格横勾配、収納状態		25%（14°）
注記：定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。		
走行速度		
収納時、最大	2.5 mph	4.0 km/h
作業台上昇時、最大	0.5 mph 40 ft / 55 秒	時速 0.8 km 12.2 m / 55 秒
床荷重表、GS-1330m		
最大輪荷重	860 lbs	390 kg
タイヤ接地圧	119.4 psf	8.40 kg/cm^2 824 kPa
車体占有面の平均圧力	237 psf	1159 kg/cm^2 11.37 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

代理店:

www.genielift.com